

「患者に何を語りかけるか」ではなく「患者の語りをどう受け止めるか」を!

患者の「語り」から 紐解く緩和ケア



意思決定支援に活かすナラティブ・アプローチ

疼痛緩和のための処方をしたら「モルヒネ中毒になるのではないか」と患者が言ったとき「そんなことはありません」とすぐに訂正するのは適切だろうか。こちらの言葉が届く関係ができる前に「誤解を正す」という態度で「正しい知識」を伝えても、患者の不安は残り、口を閉ざしてしまいかねない。必要なのは「正しい説明」ではなく、患者の「語り」をいかに引き出し、それにどう応えていけるかではないだろうか。そのことをともに考え、患者の「語り」をどのような場面で実際に活かすことができるのかを伝えるセミナーとしたい。

のりふみ

岸本寛史氏 高槻赤十字病院 緩和ケア診療科 部長

1991年京都大学医学部卒業。2004年富山大学保健管理センター助教授、2007年京都大学医学部附属病院地域ネットワーク医療部准教授を経て2012年より現職。著書に『癌と心理療法』、『緩和のこころ』、『緩和ケアという物語』、『ナラティブ・ベイスト・メディスンの実践』(共著)、『迷走する緩和ケア』など。

福岡	19年 3月2日(土)	日総研 研修室(第7岡部ビル)
大阪	19年 4月21日(日)	田村駒ビル
東京	19年 5月19日(日)	日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 税込	一般 18,500円 会員 15,500円
	※会員は日総研雑誌(定期行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
	※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数15人。

どのような場面で実際に活かせるか

プログラム

- 緩和ケアにおけるEBMとガイドライン
- ナラティブ・アプローチとは
 - 説明が安心を与えるとは限らない
 - まずは話を聞いてみる
 - 関与しながらの観察
 - 語りに基づく記録
 - 医療者も揺れる～自分自身の受け止め方を意識する
- 患者の「語り」を意思決定支援に活かす
 - アドバンスケアプランニングと時間体験
 - 物語的生命倫理
 - 物語の書き換え～事例を通して
- 患者の語りを聞くために
 - 語りとイメージ
 - 不安とうつ
 - 夢と感情
- せん妄の語りを聞く
 - 死の恐怖とせん妄
 - せん妄と夢
 - せん妄の語りを聞くには
- 「耐え難い苦痛」を聞く
 - 「耐え難い苦痛」をどう受け止めるか
 - 深い持続的鎮静～臨床倫理の原則論・手順論・物語論
- 患者の「語り」と家族

このセミナーの詳細はホームページで案内中!

日総研 14781

検索

Eメールで専門業務のニーズに応える

「今、学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ www.nissoken.com/mm

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

FAX申込書 患者の「語り」から 紐解く緩和ケア[14781] ↓参加地区に✓印を [1] <input type="checkbox"/> 福岡 3/2 [2] <input type="checkbox"/> 大阪 4/21 [3] <input type="checkbox"/> 東京 5/19	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください ふりがな 氏名 (受取 確認者)	送付住所 TEL() - 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要 送付先 自宅 ・ 勤務先
	生年月日 西暦 19 年 月 日 ▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください お客様コード 役職・部署	勤務先名	
	ご連絡をお送りします。メールアドレス		

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌(定期行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

日総研会員はセミナー3,000円引き!

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細はwww.nissoken.com/privacy